

ご利用者のご要望に、可能な限りお応えしています。

循環器疾患をはじめ、病気の予防・早期発見には、正しい検査と診断が不可欠です。ペガサス健診センターでは、最新鋭の医療機器を用いた各種検査を行い、適切な診断をご提供

しています。検査メニューには、堺市市民健診をはじめとする「一般健診」、企業の従業員を対象に行う「企業健診」、より専門的に検査する「人間ドック」があります。

私たちが常に心がけているのは、ご利用者のご要望にできるだけお応えすることです。たとえば、受診当日に「オプション検査を追加したい」、また、「早く検査結果がほしい」といったご要望にも、できる限り院内の調整を図り、可能な範囲で対応させていただいています。また、マンモグラフィ検査(乳房のX線撮影)は、働く女性のライフスタイルに配慮して、平日の午後5時から7時まで予約制にて実施、さらに、月1回、第3日曜日に検査を実施するなど、より多くの方々に健診を受けていただけるよう工夫を凝らしています。

このほか、おもてなしの心を随所に盛り込んだ心地よい空間も、当センターの自慢のポイントです。落ち着いて検査を受けていただけるように、広々とした待合室を備えるとともに、大きな鏡のあるパウダールームをご用意し、女性のご利用者への細やかな配慮も尽くしています。



気になる人間ドックの結果は、専門医から直接、ご説明します。

人間ドックでは、各診療科と連携し、専門的なコース(脳ドック・もの忘れドック・動脈硬化ドック・レディースドック)をご用意しています。たとえば「動脈硬化ドック」では、循環器科部長の山下 啓医師と綿密に相談の上、造影剤を用いた冠動脈(心臓血管)のCT検査、心臓エコー、頸動脈エコーなど、充実した検査メニューをラインナップ。狭心症、弁膜症などの心臓病、閉塞性動脈硬化症といった動脈硬

化の早期発見に繋がっています。こうした専門ドックの検査結果は、原則として、検査当日、各診療科の専門医から直接、受診者にご説明しています。その他の健診、人間ドックなどの結果について後日郵送の場合にも、必ず事前に、専門医が結果に目を通し、間違いがないか確認した上で送付しています。さらに、検査で異常が見つかった場合も、引き続き、馬場記念病院の外来へ紹介さ

せていただきます。このように健診部門と診療部門が緊密な連携を発揮できるのは、馬場記念病院に併設された健診センターだからこそ。これからも私たちは、循環器科をはじめ、各診療科としっかり連携を図りながら、安全で信頼性の高い健診サービスをご提供していきます。

ペガサス健診センター  
センター長 浜尾雅信

### 患者さまへ

我々循環器科では、お一人おひとりに精一杯の思いやり医療を行いたいと考えています。外来診療ではお待たせすることもあるかと思いますが、診療においては、どの

医療機関よりも、患者さまの不安や苦痛を取り除けるよう、一層努力していきます。患者さまにご満足いただけるよう、日々の勉強を怠らず、質の高い医療を提供していく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



特集

## 地域医療を深める

この地域の患者さまに、質の高い医療を提供するために。

### 循環器科部長からのメッセージ

医師教育に力を注ぎ、地域医療への対応力を強化しています。

虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)、不整脈、高血圧性心疾患、心筋症、大動脈瘤など…。循環器領域の疾患は多岐にわたります。私たち循環器科がめざすのは、それらすべてにおいて広い知識を持ち、この地域で発生する循環器領域の一般的な疾患にしっかり応えていくこと。そのためには、医師一人ひとりが幅広い対応力を身につけることが必要です。

こうした考えから、2017年春、3カ月間にわたり、当科の長谷川聡史医師を沖縄県の「北部地区医師会附属病院

心臓血管センター」に派遣しました。この病院は私がときどき不整脈治療の指導に伺っている施設で、当院と同じく、地域に根ざした医療を展開しています。長谷川医師はここでさまざまな体験を積み、ひとまわり頼もしくなってきました。今回の循環器科ニュースではそんな研修体験記をご紹介しますので、ご一読いただければ幸いです。当科ではこれからも、医師一人ひとりの診療能力を高め、地域の患者さまに最新の知見に基づく質の高い医療を提供してまいります。



馬場記念病院  
循環器科部長  
山下 啓



# 地域医療研修で得たのは、貴重な経験の数々。 長谷川医師がひとまわり成長して帰ってきました。

## 3カ月間、沖縄県名護市の 心臓血管センターへ。

01

### 地域医療研修のきっかけは？

**長谷川** 2016年4月、後期臨床研修医(※)として、循環器科で勤務を始めた当初から、「沖縄県の北部地区医師会附属病院 心臓血管センターで研修しませんか」というお話を山下部長からいただいていた。私は馬場記念病院で初期臨床研修を受けた後、当科に配属されていますから、他の病院のことはあまり知りません。ここは違う環境、しかも、山間へき地を抱える沖縄県名護市にある病院で研修することは、地域医療への理解をさらに深める絶好のチャンスだと考えました。これまで私が培ってきた知識や技術を試すためにも、「喜んで行かせていただきます」とお返事しました。

※ 大学を卒業し、医師免許を取得した医師は、初期臨床研修(卒後1～2年目:必修)で基礎的な診療能力を育んだ後、後期臨床研修(卒後3～5年目)で希望する診療科に進み、専門医をめざしていきます。



循環器科 医師  
長谷川聡史

### 「北部地区医師会附属病院 心臓血管センター」は、どんな病院ですか。

**長谷川** 沖縄県北部地区唯一の循環器疾患に特化したセンターで、循環器内科と心臓血管外科から構成されています。守備範囲が広く、山間地や離島などからドクターヘリ(救急医療用の医療機器などを装備したヘリコプター)での救急搬送もあり、一刻を争う疾患に対しては、24時間

365日いつでも緊急手術ができる体制を整えています。それだけ地域に貢献している病院ですが、医師の数は両科を合わせてわずか4名。深刻な医師不足を補うために、看護師をはじめとした職員の方々が緊密に協力し、病院の総力を結集して地域医療を守っておられます。

## 医師不足の過酷な状況下で、 腕を磨く。

02

### 研修内容について教えてください。

**長谷川** 心臓血管センターの医療チームの一員として、診断から治療まですべての業務に携わらせていただきました。救急外来では、月に9回ほどの当直を担当。心筋梗塞や急性心不全の発作を起こした方など、重篤な患者さまも多く来院され、俊敏な判断と的確な治療が要求されました。たとえば、夜中に心不全の方が2人続いて来院され、検査や診断、入院手続きを終えて、ようやく仮眠を取ろうとしたら、明け方にまた救急患者さまが搬送されてくる…。そんな大変な日もあり、大いに鍛えられたと思います。治療では、カテーテルという細い管を動脈に挿入し、狭くなった血管を広げる治療も数多く担当。手技の上達に繋がったと実感しています。

### 研修で刺激を受けたことは何ですか？

**長谷川** 循環器内科の先生はもちろん、心臓血管外科の先生方と話す機会も多く、外科的治療について学べたことは大きな収穫でした。たとえば、心臓弁膜症に対する手術適応のタイミングや年齢などについても、外科の先生から示唆に富んだ意見をいただきました。馬場記念病院では、外科的手術が必要と判断した患者さまについては、責任を持って近隣の施設にご紹介しています。

そういう場合、これまで私はまだ、その先の外科的治療まで踏み込んで把握していませんでしたが、これからは紹介先の病院でどのような治療が行われるのか、ある程度予想し、患者さまにもしっかりとご説明できると思います。

## 患者さま一人ひとりを、 丁寧にしっかり診ていきたい。

03

### 研修で得たものは何ですか？

**長谷川** 心臓血管センターでは、医師が少ないので、とにかく多くの患者さま、さまざまな疾患の治療を経験させていただきました。その結果、ある程度、どのような循環器疾患にも対応できる、という自信がついたと思います。また、改めて初心に戻り、患者さまとのコミュニケーションを学び直すことができたのも成果の一つです。沖縄では方言

を話す年配の方も多く、聞き取りにくかったり、伝わりにくいこともしばしば…。大阪とは違う土地柄の患者さまとどうすれば意思疎通を図れるか、試行錯誤しながら、丁寧なコミュニケーションを心がけました。意思疎通を丁寧に行うことは、今後も忘れないようにしたいと考えます。

### これからの抱負を聞かせてください。

**長谷川** 「一人ひとりの患者さまにしっかり対応し、循環器疾患全般にわたりの確に診られる医師になる」。それが、私の目標とする医師像です。沖縄で学んだ幅広い知識と技術、患者さまとのコミュニケーションなどを、この地域の患者さまに還元しながら、自分の目標に一步步近づいていきたいと考えています。また、当院と沖縄の病院では、業務の手順などいろいろな相違点がありました。研修先で良かったことは、山下部長や先輩医師にも提案をし、当科のチーム医療にどんどん活かしていきたいと思っています。

## 公益社団法人北部地区医師会 北部地区医師会附属病院 心臓血管センター

沖縄県北部地区は県の全面積の36.2%を占め、へき地、離島が散在する12市町村で構成されます。その広いエリアの地域医療を守るために名護市に設立されたのが、北部地区医師会附属病院です。そして、その附属病院として、北部地区医師会附属病院 心臓血管センターが平成22年に開設されました。ここでは、心臓疾患・大血管疾患の最



善かつ高度な治療を目的に、最先端の医療機器を完備。循環器内科と心臓血管外科が互いに協力し、地域の心臓血管治療に貢献しています。



北部地区医師会附属病院  
心臓血管センター



心臓カテーテル室



蘆田欣也(あしだきんや)  
循環器内科科長



蘆田科長(左)と馬場記念病院  
循環器科部長 山下 啓(右)